

スコア映画サロンのお知らせ vol.302



◆日 時：2025年10月26日(日) 14:00～18:00

◆会 場：名古屋国鉄会館

(わからない方は10分前にスコアレに集合またはお問い合わせください)

※映画サロンは禁酒禁煙です。

◆参加費：1000円(初参加の方は無料です)

課題映画

▷ワン・バトル・アフター・アナザー

(10/3よりミッドランドスクエアシネマほかにて公開)

▷秒速5センチメートル

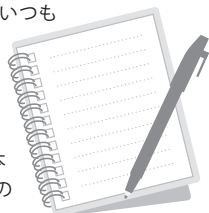
(10/10よりミッドランドスクエアシネマほかにて公開)

サロンメモ

映画を深く味わうための解説と知識の場でもある映画サロン。その本領を発揮したのが「ふつうの子ども」の最後の口パクのシーンの解説だった。。私なんかはアイラブユーって言ったのか、ぐらいにしか思わなかったが、実はそうでなかった事が参加者の解説でわかった。その口パクセリフはモデルの若い環境活動家のログセでよく言ってるらしい。だから口の動きで何と言ったかわかったと。その上その言葉の持つしささか傲慢な性質まで教えてくれた。いや、疑問が解けただけでなく、深いところまで教えてもらった。何と素敵な場だ。と同時に、映画の作り手の教養や繊細さにも感服した。映画は強く感じて深く考えれば底なしの面白さがある。その奥深い面白さを引き出してくれるのがサロンの場なのだ。

謎がいっぱいの「遠い山なみの光」。皆さんまずは謎解きから入るのでなかなか登場人物たちの心にまで踏み込めない。そんな中見事に独自の解釈を語ってくれた参加者が二人いた。二人とも女性。女性の参加者はその二人のみ。いつも言ってるが、年齢と性別はもう少し幅が欲しいところだ。少ない女性や若者の意見がその属性の最大公約数と勘違いしないためにも。

次回、大好きなポール・トーマス・アンダーソンはいいとして、珠玉の工芸アニメの実写リメイク作はどうなんだろう。日本映画が渋滞する月もあれば、スカスカの月もある。アニメ作との比較は抑制して語れる映画ならいいのだが。(小西)



初めて参加される方は参加費無料！10分前にシネマスコアレまでお越しください。

9/28(日)	ふつうの子ども	遠い山なみの光	宝島	愛はステロイド	劇場版 TOKYO MER 走る緊急救命室 南海シンシオン	8番出口	ブラック・ ショーマン	ハリー・ The World of John Wick
サロン参加者								
田中 健一	5	4	5					
近藤 生久子	5	5						
白石 麻由子	5	5	5					
高橋 広河	3	3	3			3	3	4
横井 清	5	3	4	3	3		3	4
榊原 隆裕	5	5			5			
岡村 昌俊	4	3	4	5				
加藤 賢二	4	4						
山本 正明	5	3	4	3	3	2	3	4
牧野 鐘徳	4	5		5	4	2	3	4
斎藤 文彦	5	3			5		5	
井上 章	5	4	4	4	4	3		4
清水 翔瑛		3						
三田 正継	5	4	5	5	4	4	3	
小西 孝直 (スコアレサロン代表)	5	4	5					
坪井 篤史 (スコアレ支配人)	5	4		3		1		4
木全 純治 (スコアレ代表)		3			4	3	3	4